

# 巻頭言

岩手県立杜陵学園長

中村 敬

令和六年度は、小中学生四名、実科生一名の入所児童五名でスタートし、十一月現在では、入退所により十名となっています。私は、十一年ぶりの勤務ですが、子どもの特性や複雑化した背景等個別対応を要する児童が以前より多い印象を受けました。それでも子どもたちが課題を克服し、成長していく様子や笑顔で退園していく姿は、今も昔も変わらず感慨深いものがあります。

五月のデイキャンプでは、各自が役割を全うし、思い出に残る素晴らしい園内行事の体験だったこと、七月のブロック野球大会では、結果は惜しくも負けてしまいましたが、予想以上の大活躍と歓喜にあふれる瞬間がたくさんあったこと、九月の北奥羽スポーツ交歓会では、優勝、三位と輝かしい成績を収めたこと、十月の学習

# 杜陵だより

第6-1号

発行：岩手県立杜陵学園  
(児童自立支援施設)  
〒020-0124 岩手県盛岡市  
厨川二丁目3番1号  
電話：019-641-3365

発表会では、想像以上の素晴らしいステージ発表で感動を与えたこと等、各行事等を通じた児童の成長は、目を見張るものばかりでした。

児童一人ひとりが課題に向き合い、紆余曲折がありながらも、行事場面だけでなく、明らかに成長を垣間見せてくれる瞬間がどの子にもあります。子どもたちの素晴らしい可能性を引き出す機会をたくさんつくっていくことは、学園、我々職員の大きな役割であると改めて感じた次第です。今後とも、保護者をはじめ、学校、地域、各関係機関の皆様には、一層の理解と協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## スポーツ活動

今年度は四月のグラウンド開きを皮切りに野球日課が始まりました。掲げたスローガンは『がむしゃら』。監督、キャプテンを中心に日々の練習を一生懸命取り組みました。六月には、学園内での練習試合や杜陵学園OB職員との交流試合を行い、実践経験を積み重ねました。迎えた七月の野球大会では、職員を含めたオープン参加という形になりました。対戦相手の福島学園とは大接戦の末、十対十

二と惜しくも敗れてしまったものの、これまでの練習の成果を十分に発揮できた実りある大会となりました。宿舎での温泉や料理も満喫し、児童にとっては忘れられない思い出となりました。

初の公式戦直前。ワクワク、緊張、不安等様々な感情が入り混じる中、これまでの練習の積み重ねを自信に変え、試合に臨みます。

野球大会を終え、次に見据えたのは九月に行われる北東北三県によるバドミントン大会です。日課が野球からバドミントンに代わり、児童はめきめきとバドミントンの腕を上げていきました。今年度の大会は岩手県で開催され、児童は二チーム体制で大会に臨みました。結果は、Bチームが優勝、Aチームが第三位という輝かしい成績を残すことができました。

スポーツ活動では、困難に打ち勝つ強い精神力や協調性を養い、健全な精神を培うことを目的としています。児童は、先述の目的の他、技能向上を目指して、日々意欲的にスポーツに取り組んでいます。

児童が生き生きと日々生活できているのは、保護者及び関係機関の皆様の御支援があつてこそだと児童・職員共々実感しております。今後とも、児童の更なる飛躍のために、御支援いただければ幸いです。(菊池)

## 作業活動

今年度の主な活動は、畑作業と環境整備作業としました。

畑作業は、土づくり、苗づくり、植え付けを行い、芽かきや草取り等の手入れを経て、ようやく実った野菜を収穫することができました。児童たちは意外にも草取り作業を嫌がらずに行い、収穫時には「大きいのが獲れた」等と笑顔で話し、収穫の喜びを共有すること

交歓会後の集合写真。全員が一丸となつてベストを尽くすことができました。

ができました。

畑作業の様子。トマトを片手に笑顔です。「頑張つてよかったと思います。」とのこと。

環境整備作業は、生活の場である学園内をキレイにして過ごせるよう、掃除、側溝清掃、刈った草集め等、様々な内容に取り組みました。作業に集中できないこともありましたが、分校職員や学園職員からの声掛けにより、職員と一緒に作業に取り組みました。

作業を通じて、同じ体験を共有するほか、職員が一生懸命取り組む姿から児童が何かを感じることや得ることを願い、日々の作業指導に臨んでいます。(阿部)

## 学習発表会

学習発表会は十月十九日に行われました。緊張しながらも児童生徒たちは、実に堂々と当日の発表をすることができました。

ステージ発表では、国語科の朗読、社会科のプレゼンテーション、音楽科個人の部としてピアノや箏、ギター演奏が行われました。また、「学園日記」と題した学園生活の紹介と個々の決意発表、最後は学年及び全体合唱で締めくくられる充実した内容であり、一人ひとりの活躍が光るものとなりました。各教室では教科作品展示がされ、加えて全校で取り組んだピンパターン作品が体育館入口を飾り、発表や展示において、今年度ならではの工夫と挑戦のある学習発表会になりました。

草集めの様子。熊手を使いこなして黙々と取り組んでいます。

当日は、多くの来賓並びに保護者の皆様に見守られ、日頃の学習の成果を披露できたことは、児童生徒たちにとって大きな励みとなり、また大切な思い出となりました。(佐藤(香))

音楽科個人の部の様子。児童一人ひとりの様々な音色が会場を包み込みました。

中学生による社会科プレゼンテーションの様子。社会の授業での様子や学んだこと、考えたことを発表しています。

児童入所状況(単位:名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	延計
月初 人数	5	6	8	8	8	9	9	9	
月中 入所	2	2	0	0	1	0	0	1	6
月中 退所	1	0	0	0	0	0	0	0	1

教科展示の様子。児童一人ひとりが日頃の努力の成果を伝えるため、頑張つて作成しました。

皆様からの御意見・御感想はインターネットで受け付けております。

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/kouchoukouhou/teigen/1000810.html>

## 行事予定(12月～3月)

- 12月: 2学期終業式、  
クリスマス会、  
マラソン大会、  
冬季一時帰省
- 1月: 3学期始業式
- 2月: 冬季特別行事
- 3月: 修了式・卒業式、  
退園式



## 編集後記

慣れない編集作業に四苦八苦しながらも、なんとか杜陵だよりを完成させることができました。この杜陵だより作成を通して、児童の成長を改めて感じる良い機会になりました。今後もまだまだ多くの行事を控えていますので、子どもたちの充実した日々をお伝えできればと思います。今後とも御支援、御協力のほどよろしくお願い致します。(佐藤(杏))